

### Ⅲ章 保健衛生部門

#### 1 地域保健対策強化の概要

平成9年4月に地域保健法が全面施行され、保健所は地域保健の広域的、専門的かつ技術的拠点として位置づけられた。また、平成24年7月の「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」の一部改正をふまえ、大分県では、機能強化に向けて、①健康なまちづくりの推進 ②専門的かつ技術的業務の推進 ③情報の収集、整理及び活用 ④調査及び研究等の推進 ⑤市町村に対する援助及び市町村相互間の連絡調整の推進(人材育成を含む) ⑥地域における健康危機管理の拠点としての機能の強化 ⑦企画及び調整の機能の強化の7項目について保健所企画調整部門活動指針に掲げている。平成29年度、当保健所では特に下記の項目について重点的に取り組んだ。

##### (1) 企画及び調整の機能の強化

保健所は、地域の持つ課題に対する施策の企画立案及び関係機関との連携による施策の実施など広域的、専門的かつ技術的拠点としての機能を総合的に発揮することを目指している。

##### 1) 大分県東部保健所運営協議会の開催

地域住民の意見を十分反映した保健所業務の運営を行うため、地域保健法(昭和22年法律第101号)第11条及び大分県保健所運営協議会条例(昭和31年大分県条例第70号)第1条に基づき、管内住民の代表者で構成される大分県東部保健所運営協議会を設置し、関係機関等との有機的連携のもとに地域保健対策を総合的に推進した。

なお、協議会は地方自治法第138条の4第3項に基づく県の附属機関として位置づけられている。

平成29年度

実施日	場所	出席者	議題
H29.9.12	別府土木事務所会議室	運営協議会委員、 保健所職員 28人	・東部保健所管内の概況 ・東部保健所行動計画 ・東部保健所・国東保健部・地域福祉室の取組について

資料：東部保健所調べ

##### 2) 東部保健所企画調整会議の開催

地域保健法及び基本指針に基づく保健所の機能強化を目指して、各課を横断した総合的な活動を展開するために、保健所の運営方針、取組内容等について検討を行った。

平成29年度

会議名	回数	構成メンバー	議題
企画調整会議	13回	所長、次長、国東保健部長、 地域福祉室長、各課長、 各班総括、企画調整担当	・保健所行動計画の策定及び評価 ・健康危機管理体制整備に向けた計画立案、 推進方策の検討・評価の実施 ・各種横断的会議、事業等の企画及び評価等

資料：東部保健所調べ

### 3) 東部地域医療構想調整会議の開催

大分県地域医療構想の策定を受け、管内における効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するため、関係者とともに医療機能の分化・連携の推進等について協議を行った。

平成 29 年度

実施日	場所	出席者	議題
H29. 12. 18	別府ビーコ ンプラザ 中会議室	医師会、歯科医師会、 薬剤師会、医療関係者、 大分県後期高齢者医療広 域連合、看護協会、 地域包括支援センター、 消防署、別府市、杵築市、 日出町、国東市、姫島村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病床機能報告結果について</li> <li>・公的医療機関 2025 プランについて</li> <li>・国の動向について</li> </ul>

資料：東部保健所調べ

### 4) 東部圏域在宅医療推進会議等の開催

東部医療圏域における在宅医療の推進と、市町村を超えた医療と介護の関係機関相互の連携を図るため、平成 26 年度から会議を設置し、各年度末には当該年度事業の評価と、次年度の取組予定を共有している。

平成 27 年度に入退院時情報共有ルールを策定、平成 28 年度からルール運用開始し、医療機関と介護支援専門員等との双方向の連携をすすめている。

また、平成 28 年度から東部圏域医療・介護連携担当者連絡会を開始し、圏域市町の医療介護連携担当職員の情報共有の場の設置、圏域市町合同での研修会等を行っている。

#### ① 東部圏域医療・介護連携担当者連絡会の開催

平成 29 年度

実施日	場所	出席者	議題
H29. 4. 19	東部保健所	別府市、杵 築市、国東 市、日出町 の医療・介 護連携担当 職員、 保健所職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度各市町の在宅医療・介護連携事業について</li> <li>・東部圏域研修会の計画について</li> </ul>
H29. 12. 8			<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度 介護現場における看護と介護のスキルアップ研修について</li> <li>・地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みについて</li> </ul>
H30. 3. 26			<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部圏域研修の振り返り</li> <li>・来年度の圏域研修計画について</li> <li>・来年度の連絡会について</li> </ul>

資料：東部保健所調べ

## ② 東部圏域在宅医療推進会議の開催

平成 29 年度

実施日	場所	出席者	議題
H30. 3. 8	別府豊泉荘	医師会、歯科医師会、 薬剤師会、医療機関、 地域包括支援センター、 居宅介護支援事業所、 訪問看護ステーション、 別府市、杵築市、日出町、 国東市、姫島村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町村の在宅医療・介護連携推進事業の取組について</li> <li>・東部保健所の医療介護連携に向けた取組について（情報共有ルール及び医療機関等意見交換会の報告）</li> </ul>

資料：東部保健所調べ

### (2) 地域における健康危機管理の拠点としての機能の強化

保健所は健康危機事案発生時の未然防止に努め、事案発生時には迅速かつ適切な対応を行い、健康危機管理の拠点として地域住民の安全な暮らしを守ることを目指している。

そこで、平常時の体制整備（健康危機発生時の未然防止、体制の構築）、発生時の関係機関との連携による迅速・適切な対応力向上に向けて、各種の取組を推進した。

#### 健康危機管理体制の構築

平成 15 年度から、健康危機事案発生時の所内体制の整備を目的として、全職員を対象にした所内研修等を実施している。

平成 29 年度は、7 月に発生した九州北部豪雨災害への対応を踏まえ、保健所職員に必要な災害発生時の体制整備等にかかる研修や、EMIS 代行入力研修を実施した。また、感染症患者移送車両の更新に伴い、職員向けに車両取扱い研修を実施した。さらに、特定家畜伝染病（高病原性鳥インフルエンザ等）への対応に向けて、県関係部局、市町村、関係機関と連携して防疫演習に参画した。

平成 28 年度に引き続き、福岡検疫所大分・佐賀関出張所が主催する新型インフルエンザ等患者搬送訓練（「大分港新型インフルエンザ」患者搬送訓練）に参画した。

平成 29 年度

	主催者及び実施日	内容等	参加者等
健康 連絡 危機 管理 会議	東部保健所 H29. 8. 21	<ul style="list-style-type: none"> <li>①健康危機管理体制について</li> <li>②災害医療体制について</li> <li>③感染症等をめぐる動向について</li> </ul>	医師会、歯科医師会、医療機関、消防本部、警察署、管内市町村、東部振興局、別府教育事務所、東部保健所、国東保健部
職員 研修	東部保健所 ①H29. 8. 2 ②H30. 1. 9 ③H30. 2. 22 ④H29. 6月～H30. 2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>①鳥インフルエンザ対応PPE着脱訓練</li> <li>②広域災害救急医療情報システム（EMIS）入力訓練</li> <li>③1類感染症を想定したPPE着脱訓練、新型感染症患者搬送車取扱い説明</li> <li>④災害時アクションカードの作成（所内プロジェクトチーム）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①東部保健所及び別府土木事務所職員</li> <li>②③東部保健所職員</li> <li>④所内プロジェクトチームメンバー（各班から選出）</li> </ul>

シミュレーション	平成29年度大分県特定家畜伝染病防疫演習 H29.10.18	大分県が主催する特定家畜伝染病防疫演習において、東部振興局管内の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生したという想定で演習を実施した。 東部保健所は地元保健所として、集会場及びクリーンゾーンの設営、防疫作業従事者等の健康管理、防護服着脱介助等、防疫作業支援者の役割の各係長を担った。	東部振興局、宇佐家畜保健衛生所、土木事務所、管内市町、東部保健所、国東保健部等
各種情報提供	県、保健所ホームページ	健康危機管理に関する各種情報提供 ・感染症発生動向調査「あなたの街の感染症情報」の活用 ・東部保健所ホームページに情報掲載 ・市町村報、新聞等への情報提供	対象：住民、関係機関等
	iFaxによる情報送信（随時）		管内関係機関
管物理品		健康危機管理に必要な機器、機材及び物品の整備	

資料：東部保健所調べ

### (3) 人材育成

#### 1) 看護学生等実習生指導

##### 【東部保健所】

平成29年度

施設名	受入人数	受入期間
大分県立看護科学大学（学部生）	8人	H29.5.8～5.26（4日間、2グループ）
大分県立看護科学大学（大学院生）	2人	H29.11.6～12.8（5週間）
別府医療センター附属大分中央看護学校	24人	H29.5.29～11.15（3日間、6グループ）
大分大学医学部看護学科	8人	H29.11.6～H30.3.2（4日間、2グループ）
計	42人	

資料：東部保健所調べ

##### 【国東保健部】

平成29年度

施設名	受入人数	受入期間
大分県立看護科学大学（学部生）	8人	H29.5.8～5.26（4日間、2グループ）
大分大学医学部看護学科	2人	H30.1.9～1.11（3日間）
計	10人	

資料：東部保健所調べ

#### 2) 公衆栄養学臨地実習指導

平成29年度

施設名	受入人数	受入期間
中村学園大学 九州栄養福祉大学	3人	H29.10.2～10.6（5日間）
別府大学	4人	H29.10.2、H29.10.25～10.28（5日間）
	4人	H29.10.2、H29.10.31～11.2、H29.11.5（5日間）
	4人	H29.10.2、H29.11.14～11.17（5日間）
計	15人	

資料：東部保健所調べ

### 3) 管内保健師の人材育成

#### ① 東部保健所管内地域保健・福祉従事者会議

平成 29 年度

実施月	場 所	時間	回数 (延)	参加者数 (延人員)	内容
H29. 4月 ～H30. 3月 (8月は休 会)	東部保健所、 管内各市役所・ 町役場会議室	13:30 ～ 15:30	11回 ※うち3回 は市町に出 向いて実施	行政機関に 勤務する保 健師 231人	テーマ 「地域特性に応じた健康なまちづくりの推進」 ①取り組み報告 ②グループワーク ③事例検討

資料：東部保健所調べ

#### ② 国東保健部管内地域保健活動研究会

平成 29 年度

実施月	場 所	時間	回数 (延)	参加者数 (延人員)	内容
H29. 4月 ～H30. 3月	国東保健センター	13:00 ～ 16:00	11回	190人	テーマ「PDCAサイクルに基づいた地域保健活動 を展開しよう！」 1 各機関からの情報提供 2 私の保健活動（取組報告） 3 地域診断（保健師活動指針に基づく保健活動の 推進を目指して） 4 事例検討 5 グループワーク 等

資料：東部保健所調べ

### 4) 新任期保健師の人材育成

平成 26 年 3 月の厚生労働省健康局通知「地域における保健師の保健活動について（保健師活動指針）」において、保健師の保健活動の基本的な方向性の 10 項目の 1 つに「地域診断に基づく PDCA サイクルの実施」が示された。

県医療政策課がおこなう新任期保健師研修会と連動し、地域診断の実際を学び、効果的な保健活動が展開できる能力を養うことを目的に、研修に取り組んだ。

平成 29 年度

	実施日	内容等	対象者等
地域診断の 実践	H29. 4月 ～H30. 3月	各市町村の人口動態・人口静態、 死因統計データ等の収集・加工・読 み取りを通して、各市町村の地域保 健の現状を整理した。 これに加え、自分の担当業務に関 連して、保健師自身が取り組むべき 活動は何かを明らかにしていくこと ために、日頃の地区活動から得られた 質的情報をまとめ、考察した。	採用 1 ～ 3 年目の新任期保健師 12人  ※指導保健師は、随時、新任期 保健師と相談しながら、地域診 断と一緒に取り組んだ
地域診断 研修会	①H29. 8. 16 (県医療政策課) ②H29. 9. 11 (東部保健所)	県医療政策課主催の新任期保健師 前期研修において、保健師活動の基 盤となる地域診断の目的、データの 考え方等について学んだ。 東部管内で実施した研修会（情報 交換会）では、前期研修の振り返り、 到達目標の確認、管内市町及び 保健所・保健部の新任期保健師と指導 保健師で、取り組み状況の共有等 を行った。	新任期保健師 指導保健師等

地域診断実践報告会	①H30. 2. 6 (県医療政策課) ②H30. 2. 15 (東部保健所) ③H30. 2. 28 (国東保健部)	地域診断の実践を踏まえ、各地域の保健統計、健康状態、担当分野における優先して取り組むべき健康課題等について発表した。	新任期保健師 指導保健師、担当課長等
-----------	--	--	-----------------------

資料：東部保健所調べ

#### 5) 自治医科大学生の地域医療実習

保健福祉行政等の実際を学び、地域・医療・保健・福祉・行政の各分野で活躍できる人材の育成を目的として自治医科大学が5年生を対象に行う地域医療実習について、実習生の受入れを行った。

平成 29 年度

実施日	場所	受入人数	内容
H29. 11. 13 ～11. 17	東部保健所 救護施設「渓泉寮」 姫島村国民健康保険診療所 等	4 人	東部保健所の概要、所管業務に関する説明のほか、各種検査業務への同行、診療所訪問を行うことで、保健福祉行政に関する実践的体験の機会等を提供した。

資料：東部保健所調べ

#### (4) 地域健康課題対策推進事業

大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」に掲げる「健康寿命日本一」を実現するため、平成28年度に「県民意識行動調査」を実施した。調査の結果、市町村ごとの健康課題の要因となる生活習慣の地域差が明らかとなったことから、地域差の縮小に向けた対策の強化、課題解決に向けて市町村が実施する事業に対して支援を行うことにより、健康課題の地域差の縮小と健康寿命の延伸を図るため、以下の取組を実施した。

平成 29 年度

	健康課題	内 容	参加者						
別府市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺がん検診受診率が低い</li> <li>・肺がんのSMRが高い</li> </ul>	<b>【別府市（補助事業）】</b> 1 肺がん検診受診体制の充実 (1) 自治委員の希望による出張肺がん検診の実施 (2) イベント及び特定健診とのコラボレーション 2 肺がん検診対象者への受診勧奨及び再受診勧奨 (1) 受診勧奨（コール事業） (2) 再受診勧奨（リコール事業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内健診センター</li> <li>・全国健康保険協会大分支部</li> <li>・労働基準監督署</li> <li>・各種団体（ホテル旅館組合、飲食業組合等）</li> <li>・商工会議所</li> <li>・自治委員</li> <li>・健康経営事業所</li> <li>・別府市</li> </ul>						
		1 がん検診受診率向上プロジェクト会議 受診率向上に向け関係機関と連携した取組等について検討 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>参加機関</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回会議 H29.8.1</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協会けんぽ</li> <li>・管内の健診機関</li> <li>・管内市町</li> <li>・県健康づくり支援課</li> </ul> </td> <td>           ①がん検診の現状課題の擦り合わせ            ②受診率向上に向けた取組検討         </td> </tr> <tr> <td>第2回会議 H29.12.18</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協会けんぽ</li> <li>・管内の健診機関</li> <li>・管内市町</li> <li>・県健康づくり支援課</li> </ul> </td> <td>           ①健診機関における受診率実態把握結果の共有            ②職域のがん検診実施体制の調査結果の共有            ③対策の検討         </td> </tr> </tbody> </table> 2 職域（医療従事者）のがん検診実施体制の実態把握 別府市、杵築市、日出町にある病院（33病院）に対して、実施体制についてアンケート調査を実施。			参加機関	内 容	第1回会議 H29.8.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協会けんぽ</li> <li>・管内の健診機関</li> <li>・管内市町</li> <li>・県健康づくり支援課</li> </ul>	①がん検診の現状課題の擦り合わせ ②受診率向上に向けた取組検討
	参加機関	内 容							
第1回会議 H29.8.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協会けんぽ</li> <li>・管内の健診機関</li> <li>・管内市町</li> <li>・県健康づくり支援課</li> </ul>	①がん検診の現状課題の擦り合わせ ②受診率向上に向けた取組検討							
第2回会議 H29.12.18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協会けんぽ</li> <li>・管内の健診機関</li> <li>・管内市町</li> <li>・県健康づくり支援課</li> </ul>	①健診機関における受診率実態把握結果の共有 ②職域のがん検診実施体制の調査結果の共有 ③対策の検討							

<p>杵築市</p>	<p>・歯が27本以下の人の割合が高い ・定期的な歯科健診受診率が低い</p>	<p>1 歯科口腔保健に関する現状把握  (1) 事業所の歯科保健の意識アンケート調査  (2) 事業所への意向調査（杵築市と協働）</p> <p>2 歯科口腔保健に関する普及啓発  杵築市及び建設業協会、健康寿命日本一おうえん企業とタイアップして市民等に向けて知識を普及するための講演会を開催。  (1) 杵築日出建設業協会安全大会での講演  月 日：H29.11.17（金）  場 所：建設会館  内 容：歯科衛生士による講話  (2) 杵築市健幸セミナー  月 日：H30.1.23（火）  場 所：杵築市健康推進館  内 容：歯科医師による講演</p> <p>3 事業所向け健康教室（口腔ケア・ブラッシング指導）の開催  延べ12回372人に対して実施</p>	<p>・杵築市 ・杵築市日出建設業協会 ・健康寿命日本一おうえん企業 ・健康経営事業所 ・歯科衛生士会</p>										
<p>日出町</p>	<p>・塩分摂取量が県内で一番高い</p>	<p>【日出町（補助事業）】</p> <p>1 尿中塩分測定検査の実施  特定健康診査受診者、延べ1,383人に実施。同時に、塩分チェックシートによる食習慣調査を実施。</p> <p>2 節塩に特化した健康教室の開催  内容…うま塩メニュー試食、節塩のための講義等</p> <p>3 尿中塩分測定検査及び食習慣調査の結果分析  結果分析を行い、高塩分摂取の食習慣を抽出。</p> <p>4 住民組織との協働による節塩普及活動  地域での味噌汁の塩分測定や試飲、住民組織主催の節塩の健康教室の開催等。</p> <p>5 節塩推進プロジェクトチーム会議の開催</p> <table border="1" data-bbox="459 1294 1157 1480"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29.7.13 分析会議</td> <td>県民健康意識行動調査結果を踏まえた、日出町塩分摂取の実態解明と対策の検討</td> </tr> <tr> <td>H29.9.28 推進会議</td> <td>節塩の環境整備の検討</td> </tr> <tr> <td>H29.12.14 推進会議</td> <td>節塩の環境整備の推進</td> </tr> <tr> <td>H30.3.1 分析会議</td> <td>事業の評価</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 尿中塩分測定検査による塩分摂取の見える化  日出町内の健康経営登録事業所12事業所289人に尿中塩分測定検査を実施。</p> <p>2 減塩に特化した健康教室（適塩チャレンジ）の実施  (1) 適塩チャレンジ体験会  日時：H29.7.28（金）10:30～12:00  場所：日出町保健福祉センター  参加者：21人（事業所担当者、住民組織等）  内容：適塩チャレンジメニュー体験、意見交換  (2) 適塩チャレンジ  尿中塩分測定結果を踏まえ、5事業所（延257人）で教室を開催。</p>	時期	内容	H29.7.13 分析会議	県民健康意識行動調査結果を踏まえた、日出町塩分摂取の実態解明と対策の検討	H29.9.28 推進会議	節塩の環境整備の検討	H29.12.14 推進会議	節塩の環境整備の推進	H30.3.1 分析会議	事業の評価	<p>・節塩推進プロジェクト会議の参加機関(医療機関、住民組織、飲食店、スーパー、商工会、JA、事業所) ・健康経営事業所 ・別府大学 ・新別府病院 ・健康寿命日本一おうえん企業 ・健診機関 ・うま塩メニュー提供店、 ・別府市 ・杵築市 ・日出町</p>
時期	内容												
H29.7.13 分析会議	県民健康意識行動調査結果を踏まえた、日出町塩分摂取の実態解明と対策の検討												
H29.9.28 推進会議	節塩の環境整備の検討												
H29.12.14 推進会議	節塩の環境整備の推進												
H30.3.1 分析会議	事業の評価												

		<p>3 尿中塩分測定検査結果等の分析 尿中塩分測定検査及び適塩チャレンジを実施した事業所のうち、2 事業所 59 人に評価の目的で 2 回目の尿中塩分測定検査を実施。</p> <p>4 節塩推進プロジェクトチーム会議の開催 日出町と共催で計 4 回のプロジェクト会議を開催。</p>	
国東市・姫島村	<p>1 肥満 BMI25.0 以上の割合が国東市（40～64 歳）、姫島村（20～64 歳）とも高い。</p> <p>2 食生活 ・国東市 醤油、砂糖、ジュース類の摂取が平均よりも多い。 ・姫島村 醤油、麺スープ、アルコール摂取が平均よりも多い。</p>	<p>1 うま塩ヘルシー弁当（熱量 700kcal 未満、食塩相当量 3g 未満）提供店舗の開拓 委託先である大分県栄養士会と連携して実施。 （1）店舗への訪問による事業説明（H29.5 月） 訪問店舗数 23 ヶ所 （2）弁当・総菜店等への説明会の開催（H29.6.16） 参加店舗数 10 ヶ所 （3）協力店舗の訪問による弁当開発（H29.6～12 月） 介入店舗数 14 ヶ所 うま塩ヘルシー弁当提供店舗数 7 ヶ所 （国見町 1 ヶ所、国東町 4 ヶ所、武蔵町 1 ヶ所、安岐町 1 ヶ所）</p> <p>2 完成したうま塩ヘルシー弁当の周知 各市村や健康経営事業所等と連携して、各店舗のチラシやうま塩ヘルシー弁当提供店マップを配布し、周知を図った。 （1）地域・職域連携推進会議 ・国東保健部管内の健康課題や取組経過の情報共有（H29.7.28） 参加者数 25 人 ・提供店マップの紹介、完成した弁当の試食（H30.1.16） 参加者数 27 人 （2）「国東市食と健康フォーラム」（H29.11.2） 平成 28 年度県民健康意識行動調査結果に関する講演会及びうま塩ヘルシー弁当試食会 参加者数 市民等 189 人 （3）管内の健康経営事業所等へ、完成した弁当のチラシや提供店マップをメール等で提供（随時） （4）特定給食施設栄養士研修会、保育所調理師研修会で提供店マップを配布 （5）東部保健所・国東市ホームページへの提供店マップの掲載、国東市報への関連記事掲載</p> <p>3 健康講話資料作成及び健康経営事業所への講話 国東市と協働して、県民健康意識行動調査結果からみえる健康課題を踏まえた市民向けの健康講話のスライド媒体を作成。 作成した媒体を用いた健康経営事業所への講話を国東市が実施（2 回）</p>	<p>・国東市 ・姫島村 ・大分県栄養士会 ・健康経営事業所 ・弁当・惣菜店等</p>

資料：東部保健所調べ